

国土交通省 進捗状況

地・国01:スライド1~9

地・国02:スライド10~14

地・国01

平成28(2016)年1月18日
地域における人とくらしのWG
(第2回)

【地・国01】

3次元地理空間情報を活用した 安全・安心・快適な社会実現の ための技術開発

期間：平成27年度～平成29年度

国土地理院 地理地殻活動研究センター

社会的背景

衛星測位技術の進展

- ・ 準天頂衛星4機体制の実現(2018(平成30)年)



地理空間情報技術と情報通信技術(ICT)の進展

- ・ デジタル地図の高精度化と利用の一般化
- ・ スマートフォンの爆発的普及と通信の高速化



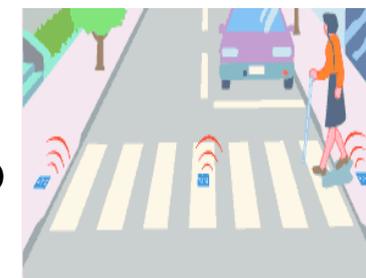
人口減少・超高齢化社会の到来

- ・ これまでの「あたりまえ」ができなくなる
- ・ 高齢者等が安全・安心・快適に生活するために、自ら行動する必要がある



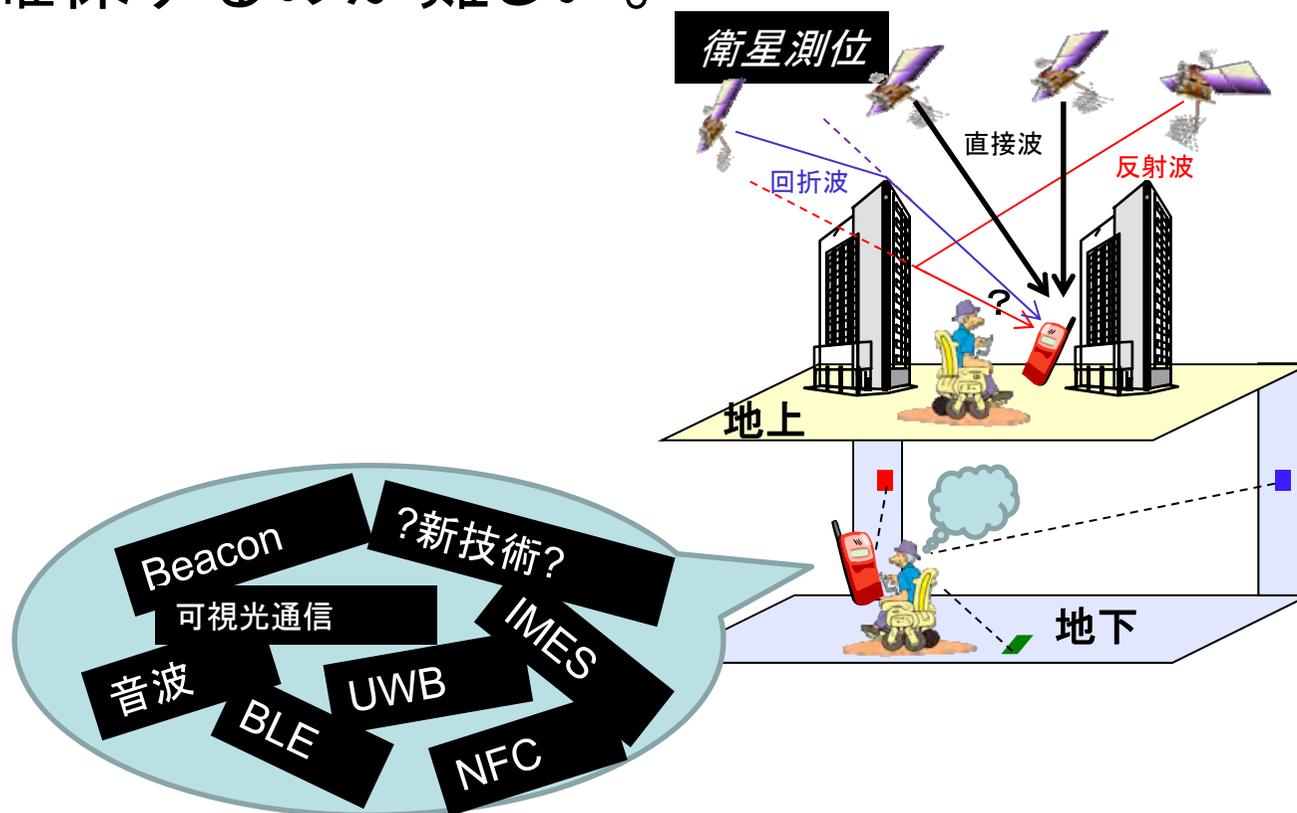
高精度測位と地理空間情報・ICTを活用したサービスの実現が期待されている。

- ◎ 自動車やパーソナルモビリティの自動運行による
利便性向上・日常生活の確保
- ◎ 高齢者や弱者に配慮した移動支援(ナビゲーション)、見守り
- ◎ 災害時の適正な誘導による安全、安心の確保 など



現状①

衛星測位は、高層ビル街や屋内・地下空間などで精度を確保するのが難しい。



屋内測位は、様々な技術が混在し、普及が進んでいない。
 (機器設置が必要、場所ごとに違うアプリが必要、など)

地下・屋内地図は目視確認するための「見取り図」で、高精度測位に対応したものとなっていない。

